

『伊藤塾 合格セレクション  
司法試験・予備試験 短答式過去問題集 民事訴訟法』  
【訂正とお詫び】 (2022年1月19日)

『伊藤塾 合格セレクション 司法試験・予備試験 短答式過去問題集 民事訴訟法』のP264「CORE TRAINING」の設問の3番目と4番目に不適切な記述がありました。大変申し訳ありません。  
下記のように対応いただくようお願いいたします。

書籍の編集過程では264頁の下2問の上に登載基準を満たす問題としてその前に「H19-61-1」がいましたが、この肢が平成29年改正によって成立しないと判明し、削除しました。しかしながら、その際に下の問題2つと連動していることを見落とし、必要な修正を怠ったため、問題の趣旨が不鮮明になってしまいました。改めて、以下のように対応していただくようお願いいたします。

「H19-61-3」および「H19-61-5」の「上記事例において」の部分をつぎのように読み替えて御使用をお願いいたします。

「AはYに対して請負代金債権（以下「甲債権」という。）を有しており、XはAに対して下請工事代金債権（以下「乙債権」という。）を有しているところ、Aは無資力となった。そこで、Xは、Aから乙債権について弁済を受けられないとして、債権者代位権に基づき、Yを被告として甲債権について支払を求める訴えを提起した。」